

肺動脈スリング合併気管狭窄症の診断、治療のため当院に入院・  
通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対する  
ご協力をお願い

研究責任者 所属 小児外科 職名 副院長  
氏名 前田 貢作  
実務責任者 所属 小児外科 職名 部長  
氏名 横井 暁子  
連絡先電話番号 078 945 7300

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、小児外科部長 横井暁子までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦1997年1月1日より2015年12月31日までの間に、兵庫県立こども病院 小児外科にて肺動脈スリング合併先天性気管狭窄症の診断及び治療のため入院又は通院し、診療、手術及びセカンドオピニオンを受けた方

2 研究課題名

肺動脈スリングを合併した先天性気管狭窄症の治療戦略

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院 小児外科

4 本研究の意義、目的、方法

肺動脈スリングの患者さんのほとんどの方が先天性気管狭窄症を合併していますが、左肺動脈移植術を行うことで、気管が太くなるスペースを確保することが期待できます。しかし、先天性気管狭窄症で呼吸器症状が悪くなってしまった患者さんでは左肺動脈移植術のみでは改善せずに、気管形成術が必要です。しかし、どのような患者さんが、左肺動脈移植手術だけでよいのか、気管形成術も必要なのか、いつ手術をするのかは、はっきり分かっていません。本研究では当院に受診された肺動脈スリングを合併した先天性気管狭窄症の患者さんたちの術前の症状や受けた手術、また

そのタイミング、術後の合併症を調査します。また左肺動脈移植術のみうけた患者さんや、全く手術を受けないで経過観察している患者さんたちの気管の太さはどうなったかを調べることによって、肺動脈スリングを合併した先天性気管狭窄症の患者さんの治療戦略を考えるのが目的です。

## 5 協力をお願いする内容

診療録の閲覧、画像データの閲覧

## 6 本研究の実施期間

西暦 2017 年 2 月 1 日～2017 年 4 月 30 日（予定）

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号、生年月日のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

横井 暁子

兵庫県立こども病院 小児外科

電話 078-945-7300

FAX 078-302-1023

Email yokoi\_kch@hp.pref.hyogo.jp

以上